

犬ヶ岳・津民川地域の野鳥

犬ヶ岳や経読岳などの森林部では、一年を通してヒヨドリやエナガ、メジロなどが見られます。春から夏にかけては、南からオオルリやコマドリなどの夏鳥が繁殖のために渡来し、冬には、ルリビタキやミヤマホオジロなどの冬鳥が越冬のために渡ってきます。

津民川では、水辺を生活の中心とするカワガラスやカワセミなどが生息しており、冬にはオシドリが渡ってきます。



犬ヶ岳南側の林

犬ヶ岳地域の森林にすむ野鳥たちの四季

この地域で一年中見られるヤマガラやヒヨドリ、エナガなどの留鳥が、つがいを作り、巣作りを始めます。

南の国からは、オオルリやコマドリなどの夏鳥が渡ってきて、同じように繁殖の準備を始めます。

春



ヤマガラ

夏

初夏の頃は、野鳥たちが子育てに忙しい時期です。森の中で樹木の枝先を飛び回り、昆虫の幼虫やクモなどを採ってヒナに運びます。

南の国から渡って来たタカの仲間のサシバは、樹木の上などに巣を作り、ヘビやカエル、昆虫などをヒナに与えます。



サシバ

繁殖を終えた夏鳥たちは、南の国へ移動を開始します。その年に生まれた若鳥たちも、自分の翼で東南アジアの方まで渡って行きます。

この夏鳥にかわって、ミヤマホオジロやルリビタキなどの冬鳥が、越冬のために北国からやってきます。

秋



ルリビタキ

冬

留鳥のシジュウカラやエナガ、ヤマガラなどは、異なった種類の鳥と一緒に群れを作り、林の中を移動しながらエサを探しています。これを「カラの混群」と言います。

越冬のために渡ってきたオオタカやハイタカなどの猛禽類は、林の中を飛びながらエサとなる小鳥類を探しています。



ハイタカ

津民川や山国川の水辺にすむ野鳥

川の上流域では、カワガラスやキセキレイ、セグロセキレイなどが水辺でくらしています。

冬には、北の国からオシドリが越冬の為に渡って来ます。

犬ヶ岳・津民川地域で観察される野鳥



エナガ

留鳥

この地域で繁殖し、一年中見られる鳥です。

ヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラ、クマタカ、キジバト、キセキレイ、カワガラスなど



キセキレイ



シジュウカラ



ツツドリ

夏鳥

春に渡ってきて繁殖し、秋には南の国に帰る鳥です。

オオルリ、クロツグミ、コマドリ、サシバ、ヤブサメ、ツツドリ、ホトトギスなど

冬鳥

秋に渡ってきて冬を越し、春には北の国に帰る鳥です。

ルリビタキ、ミヤマホオジロ、イスカ、キクイタダキ、シロハラ、ハイタカ、オシドリなど



ミヤマホオジロ

クマタカについて

犬ヶ岳周辺の森林に生息しているクマタカは、森林における生態系の頂点に位置する猛禽類で、環境省のレッドデータブックの絶滅危惧種や「種の保存法」の国内希少野生動植物種に指定されている貴重な鳥です。

クマタカが生息するためには、広い範囲の自然の森林とエサとなる動物が多く生息している豊かな自然が必要です。クマタカが安心して生息できるよう、犬ヶ岳周辺の豊かな自然環境を守って行くことが大切です。



クマタカ

ソウシチョウについて

犬ヶ岳から経読岳にか

けての尾根筋などには、たくさんのソウシチョウが生息しています。ソウシチョウは中国などに生息している鳥で、日本では飼われていたものが逃出し、野生化したと考えられています。このような外来種は、繁殖力が強い場合、今までの野生の鳥の生息に悪影響を与える場合があります。ペットなどの外来種の取扱いは十分注意する必要があります。



ソウシチョウ